

行政は実態をつかみ、介護の改善を!

訪問看護師確保、訪問介護時間短縮問題の改善などを要望



札幌社保協が市の介護保険課と懇談

5月8日札幌社保協は事前に出していた要望と質問を基に、札幌市介護保険課等と懇談をしました。市側は介護保険課長、高齢福祉課長、認知症支援・介護予防担当課長、事業指導担当課長とそれぞれの係長ら10人が出席。社保協からは勤医協在宅、福祉保育労、医労連・勤医労、老健柏ヶ丘から17人が参加しました。

訪問看護師不足の実情と確保対策を要望

看護ステーションの責任者が、道民医連の訪問看護アンケート結果を基に実態を説明。報酬が低いこと、訪問看護の特性もあり人材確保がかなり難しいことを述べ、行政として人材確保のための具体的な支援や財政的な助成を求めました。

【市側の回答】札幌市医療計画があり地域医療を支える人材確保の政策を掲げている。出産後などの復帰支援をしていきたい。私達も不足していることは認識しており、担当している保健所の医療政策課へ要望を伝える。

がん末期の2号被保険者へのサービス利用について

手稲区の訪問看護ステーションから、60代前半の男性の事例を示し、医療介護費用負担の軽減を求めました。

【市側の回答】がん末期の人については速やかに介護サービスを受けられるようにしたい。

複合型サービスで報酬通り算定しても自費負担が発生することの改善

複合施設の職員から、基準通り算定すると区分限度額の単位がほとんど残らず、加算分があると限度額を超えてしまうような事例を紹介し改善を要望しました。

【市側の回答】そのことは認識しており国へも伝えている。近く大都市の介護保険課長会議も開かれるので、厚労省にも伝えたい。基本的には介護報酬等が変更されることが必要と思うが、行政としては基準内でしてくださいとしか言えないのが実情。

訪問介護の時間短縮問題の改善

現場のヘルパーから、リウマチの人の事例・認知症の人の事例を紹介しサービス時間が足りないこと、事業所によっては今まで通り90分のサービスを実施しその分を事業所がヘルパーに支払っていることなどを紹介し、改善を求めました。参加者からは事業所だけでなく利用者の実態調査をするように要望も出されました。

【市側の回答】生活援助の一律削減をせず適切なサービス提供をと言っている。事業所への訪問調査をしている。集団指導で適切な取り扱いをするように述べている。今後も研修などで徹底したい。

質問項目－特養建設、総合事業の導入、市独自の保険料利用料軽減

●特別養護老人ホームの今後の整備計画とサービス付き高齢者住宅入居の家賃補助はどうか? ●「日常生活支援総合事業」を次期事業計画で市はどうする予定か?

【市側の回答】特養建設は3年ごとの計画であり、次期計画では2014年に決めることになる。札幌市ではサービス付き高齢者住宅が確かに増えている。家賃助成については今は考えていない。

総合事業は現在の5期では導入しなかった。実施している市町村の方が少ない。今後他自治体の調査もしながら考えて行く。第6期事業計画策定委員会の議題に総合事業については出ていない。

●介護保険会計への一般財源投入に法的規制はなく市としての独自の保険料・利用料軽減への姿勢は?

【市側の回答】確かに国からの罰則や法的な規制はないが、制度の趣旨からして財源を投入するのは適切でないと考える。低所得層向けの助成は子ども医療費への助成などの特定の分野への助成とは同じではない。軽減は介護保険制度全体として考えるべきもの。

その他 生活保護受給者の介護保険制度利用に対し、保護課が速やかな対応をしてくれない事例を示し、保護課に伝え改善するように要望しました。

「TPPと医療」を学習 — 豊平区社保協



5/11豊平区社保協の総会が開催され、加入団体などから27人が参加しました。第1部の学習会では「TPPと医療」について沢野道社保協事務局長が講演しました。

第2部の総会では活動の総括と2013年度の運動方針、決算・予算、役員体制を確認し、加入団体からの活動報告がありました。

守る会～生活保護、国保110番の活動、年金者組合～年金引き下げ反対の運動、地区労連～春闘学習会や労組訪問活動、新婦人～消費税増税反対署名・区長に核廃絶署名を要請、ファミリークリニック～安心して住み続けられる町づくり運動等。他にも民商、勤医協在宅、陽が昇る会、共産党、革新懇、区民の会などからの発言がありました。

介護改善の街頭宣伝開始 勤医協在宅

勤医協在宅グループの共闘委員会は、恒例の毎金曜日昼宣伝を5/10から再開しました。大通西3丁目を中心に「安心できる介護制度を」署名を通行人や公園で休憩して居る人々をお願いしました。この日は札幌市内事業所から12人が参加し、78筆の署名が寄せられました。



「アベノミクスと社会保障」新婦人中央支部

4/24新婦人中央支部は、斉藤札幌社保協事務局長を講師に「アベノミクスと社会保障」の学習会を開き13人が参加。円安・株高の実態と私たちへの影響、真の景気回復の方向、社会保障はどうなるのかなどを質問を交えながら学習しました。

2013年度第16回札幌社保協総会

**STOP!生活保護費・年金の引き下げ、消費税増税、TPP参加
憲法違反の「社会保障制度改革推進法」を廃止し、生存権と社会保障を守り発展させよう!**

2013年6月6日(木) 18:30～20:30

菊水ビル4階大会議室(白石区菊水4条1丁目 勤医協札幌病院の裏)

国保改善、負担増に対抗する学習決起集会

- 今年の国保料はどうなるのか
- 今札幌の国保行政に何が起きているのか

国保・介護・後期高齢者医療110番運動は今後どうすべきか

6月中旬から住民税、国保・介護保険・後期高齢者医療保険料の納付書送付が始まります。札幌市の一方的なやり方が強まっています。今年の特徴、問題点などを大いに学び相談活動にとりくみましょう!

2013年6月11日(火) 14時～16時(予定)

菊水ビル4階大会議室(勤医協札幌病院の裏)